

がっ にち しいうかいし にちめ いちばんおお
4月29日(火)、飼育開始から136日目となりました。一番大きなサイズ
のエサをもりもり食べ、さらに大きくなり続けています。全長だけでなく、背中
からお腹までの幅も広くなり、よりがっしりした姿になりました。機材の大きな
トラブルも、サケにもトラブルなく順調に成長が進んでいます。いよいよ放流
に向けて、5月から少しずつ海水を混ぜていき、最終的に海水100%で
飼育していきます。



ふりよう げんいん ほうりゅうじ き はるさき えんがんぶ つめ かいすいおん しょか
サケ不漁の原因には、・放流時期である春先の沿岸部の冷たい海水温と、初夏
の急激な海水温上昇に対応できずに稚魚が大量に死んでしまう。・沿岸の海
水温が秋になっても高く、サケが沖合や深いところに避難してしまうため、定置網
にかからない。・海水温の上昇で分布域がサバなどと重なり、サバなどに負けてサ
ケの稚魚の生存率が悪化する。などがあるようです。ご覧の皆様、サケたちの
成長をお楽しみに！